

多次元データベース

[Database]

- ・ <http://www.kogures.com/hitoshi/webtext/db-mddb/index.html>

上記サイトから、引用、メモさせていただきました。

多次元とは

- ・ 月別・商品別の売上データを、横に月、縦に商品をとれば2次元の表になる
- ・ 月別・商品別・支店別の売上データは3次元になる

操作

■スライシング

- ・ ある断面で切り取って2次元の表にする操作

■ダイシング

- ・ 縦軸と横軸を指定して2次元の表にする操作

■ドリリング

- ・ 詳細に展開する操作

構造

■ファクト表

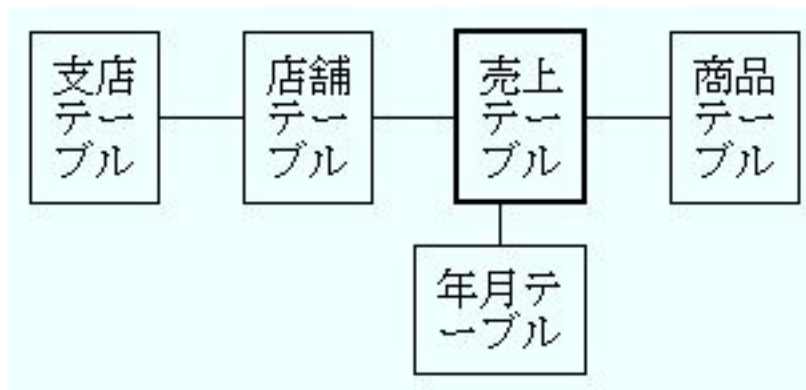
- ・ 売上テーブルのようなイベントファイルをファクト (fact) テーブル

■ディメンション表

- ・ 店舗テーブルや支店テーブルのようなマスタファイルをディメンション (dimension) テーブル

■テーブルの構成

- ・ 一つのファクトテーブル (売上テーブル) に、3つのディメンションテーブル (商品テーブル、支店テーブル、年月テーブル) が結合しているが、これらの各ディメンションテーブルが一つの軸 (縦軸や横軸) になるので、この多次元データベースは3次元になる



■ 構成の一般化

- ・この関係を一般化すると、下図（１）のように、一つのファクトテーブルと複数のディメンションテーブルが結合したスター（星）構造で表現される。この図では６次元になっている。さらに、上記の店舗テーブルのように、ディメンションテーブルが複数のディメンションテーブルを持つことがあり、（２）のようなスノーフレーク（雪片）構造になる。
- ・モデリング技法